



### 国語「俳句に親しむ」

国語で「俳句に親しむ」という学習をしました。俳句とは、「五・七・五」の17音を主として作る定型詩です。季語が入っているということを知り、昔の人が作った俳句を詠みました。

俳句では、「1文字、2文字…」ではなく、「1音、2音…」と数えます。

「おちゃをのむ」 → 「お・ちゃ・を・の・む」

「ちゃ」を1音で発音するので、5音となります。

「しっかり」 → 「し・っ・か・り」

「っ」を1音として数えるので、4音となります。

また、俳句には季節を表す「季語」を入れる必要があります。

春 … 桜、お花見、入学式

夏 … 海、梅雨、アイスクリーム

秋 … 紅葉、栗、お月見

冬 … 雪、ゆきだるま、こたつ



閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声 松尾 芭蕉

雪とけて 村いっぱいの 子どもかな 小林 一茶

2つめの俳句では、季語が「雪」か「雪とけて」のどちらかによって、季節が変わることを発見しました。この俳句は、「雪とけて」が季語となるので、春の俳句になります。百人一首を知っている子どもも多く、「ああ！たしかに！」と指を折りながら音を確認する様子が見られました。季語探しゲームも盛り上がりました。自分で作った俳句をノートに書いている子もいます。お時間があれば、是非、お子さんと教科書やノートを開いていただき、一緒に俳句をつくってみてください。

## お知らせ・お願い

### ○早ね早おき朝ごはんチャレンジカレンダーについて

早ね早おき朝ごはんチャレンジカレンダーの取り組みがあります。

1月17日(月)～1月23日(日)までの1週間です。毎日記録し、1月24日(月)にコメントを書いていただき、提出をお願いします。

### ○図工の材料について

図工の学習で「生まれ変わった仲間たち」(P40、41)をします。使わなくなったり入らなくなったりした衣類(手袋、くつ下、マフラーなどもいいです)と、飾りに使えるもの(毛糸、ひも、ボタンなど)がありましたら、持たせてください。